

地域にエンジニア保守拠点

マス商事 直行直帰型で人材配置

【横浜】マス商事（横浜市港北区、升杉夫社長、045・478・6151）は、地方で中途採用者の自宅を事務所にする直行直帰型のアフターサービス拠点を全国展開に乗り出す。取扱商品である電子部品実装機（チップマウンター）をはじめとする電子基板生産設備の迅速なメンテナンスを実現し、定期的な訪問により顧客とのパイプを強める狙い。全国十数カ所に展開し本社、西日本支店（大阪市淀川区）、東日本支店（さいたま市北区）を含めた全国サービス網を整える。



全額出資子会社のマス・エンジニアリングサービス（横浜市港北区）が拠点展開の予定地域で、メンテナンス業務経験のある人材採用活動を進めている。同社は採用するサービスエンジニアの在籍会社として2018年12月に設立。これまでに2人を採用し、マス商事が取り扱う表面実装技術（SMT）関連装置について技術トレーニングを積んでいる。まず20年3月に福岡、

マス商事は地域密着でSMT関連装置のメンテナンスを展開する

引き続き小田原（神奈川県、長野、名古屋、金川県小田原市）を拠点として、地域密着の橋、甲府、浜松、岐サードエンジニアが活動を開始する見通しだ。「各地に家庭の事情などにより地元を離れられず、裁量のある仕事を求めている中堅クラスのエンジニアが少なからずいる。そうした人材に活躍してもらいたい」（升社長）